

レビテーターII(G) 取扱説明書



警告

この取扱説明書を必ず読んで、内容を理解してから操作を行ってください。
取扱説明書は適切な収納場所に保管し、必要なときに読めるようにしてください。

本製品は当社（ミズホ株式会社）製手術台に使用可能な仕様です。

本ページは余白

目次

1. 使用上の注意事項	2
1-1 はじめに	2
1-2 絵（イラスト）表示について	2
1-3 本品について	3
1-4 安全に使用するために	4
2. 各部の名称と概要	7
2-1 各部の名称	7
2-2 各部の概要	8
3. 操作方法	10
3-1 ブーツ及びブーツパッドを取り付ける	10
3-2 手術台に取り付ける	13
3-3 手術台から取り外す	15
3-4 患者の脚をセッティングする	17
3-5 手術前・手術中の確認	20
4. 保守と点検	21
4-1 使用前・使用後の点検	21
4-2 清掃・消毒	21
4-3 アフターサービス	21
4-4 保証について	21
5. 仕様	23
5-1 仕様表	23
5-2 外観図	23
5-3 ブーツパッドの寸法目安	24

※ 本書の内容について、予告無く変更することがあります。

※ 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万が一不備な点や誤りがありましたら、ご連絡ください。

※ 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。

※ 掲載の仕様は、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

※ 掲載のイラストは、すべてイメージによるもので、実際と異なる場合があります。

※ 掲載のイラスト（ブーツおよびブーツパッド）は、「レギュラー」タイプです。

※ この取扱説明書では「レビテーターII 右脚本体 G」「レビテーターII 左脚本体 G」を含むレビテーターを「レビテーターIIG」と表記します。

※ レビテーターIIG は、左脚用と右脚用があるため、必要に応じて掲載のイラストを左右反転させる必要があります。

1. 使用上の注意事項

1-1 はじめに

この取扱説明書はレビテーターIIGを安全に正しく使用していただくためのものです。
この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解された上で実際にご使用ください。

取扱説明書を紛失または損傷した場合は、お買い上げの販売店または当社販売窓口までお問い合わせください。

1-2 絵（イラスト）表示について

この取扱説明書の表示では、レビテーターIIGを安全に正しくお使いいただき、お客様や患者への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。表示内容と意味は次の通りです。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

補 足

この表示は製品の機能について補足事項を示しています。

1-3 本品について

本品は手術台に付属するアクセサリです。砕石位のポジションを要する手術で、患者の脚部を支持する機器として使用します。

商品コードおよび商品名は次の通りです。

1) セットコード






商品コード	商品名	備考
18-070-91	レビテーターII 右脚レギュラーセット G	18-070-21, 18-070-41 18-070-93
18-070-92	レビテーターII 左脚レギュラーセット G	18-070-22, 18-070-42, 18-070-94

2) 単体コード

商品コード	商品名
18-070-21	レビテーターII 右脚ブーツ レギュラー
18-070-22	レビテーターII 左脚ブーツ レギュラー
18-070-23	レビテーターII 右脚ブーツ ロング
18-070-24	レビテーターII 左脚ブーツ ロング
18-070-25	レビテーターII 右脚ブーツ ショート
18-070-26	レビテーターII 左脚ブーツ ショート
18-070-27	レビテーターII 右脚ブーツ ワイド
18-070-28	レビテーターII 左脚ブーツ ワイド
18-070-41	レビテーターII 右脚ブーツパッド レギュラー
18-070-42	レビテーターII 左脚ブーツパッド レギュラー
18-070-43	レビテーターII 右脚ブーツパッド ロング
18-070-44	レビテーターII 左脚ブーツパッド ロング
18-070-45	レビテーターII 右脚ブーツパッド ショート
18-070-46	レビテーターII 左脚ブーツパッド ショート
18-070-47	レビテーターII 右脚ブーツパッド ワイド
18-070-48	レビテーターII 左脚ブーツパッド ワイド
18-070-93	レビテーターII 右脚本体 G
18-070-94	レビテーターII 左脚本体 G

・本体（18-070-93, 18-070-94）には、ブーツ及びブーツパッドは含まれていません。

1-4 安全に使用するために

 警告	 禁止
 注意	 操作説明参照 (本書を参照すること)
 強制義務	



警告



- 可動部で腓骨神経を圧迫しないように固定すること。下腿の外旋などで腓骨神経障害が起きるおそれがあります。



- 手術中、下記の状態では必ず前頁の項目を確認すること。長時間の手術では特に圧迫によるコンパートメント症候群や伸展が原因による神経障害・神経麻痺及び褥瘡が起きるおそれがあります。
 1. 患者の脚をセッティングし直す場合
 2. 手術が長時間になる場合
 3. 支柱を挙上した場合



注意



- 手術以外の目的で使用しないこと。



- この取扱説明書の内容を十分に理解してから本品を使用すること。また患者の安全に最新の注意を払い、取扱説明書に従って使用してください。重篤な不具合、有害事象が発現するおそれがあります。



- 本品がサイドレールに固定されていることを確認してから使用すること。ゆるんだ状態ではレビテーターIIG が動いて患者に障害が起るおそれがあります。



- 他社製手術台との組合せ使用は検証されておりません。他社製手術台では使用しないでください。



- 血流障害を防止のため、患者の筋肉または神経に無理な力がかかっていないか、必ず手術前および手術中に確認すること。



- 使用中は、足背動脈触知・皮膚色・冷感の有無により、血流障害がないことを確認すること。



- 両脚支持部は左右対称に設定すること。片方がずれていると患者の股関節部に重篤な神経障害や循環障害、血流障害が起きるおそれがあります。

注 意



● ブーツの角度を変えると脚とブーツの接触部の圧も変わるため、ブーツの調整は必ずブーツを持った状態で、ブーツハンドルを操作すること。ブーツが急に動いて、患者に重篤な神経障害や循環障害、血流障害が起きるおそれがあります。



● 開脚角度を広くすると下腿側部に強い圧がかかることがあるため、高さの開脚角度の調整はゆっくりと行うこと。急に動かすと患者に重篤な神経障害や循環障害、血流障害が起きるおそれがあります。



● 締結部が固定されているか必ず確認すること。ゆるんだ状態では機器が動いて、患者に障害が起きるおそれがあります。



● 許容患者体重（270 kg 以下）を遵守すること。機器の破損や患者の落下等のおそれがあります。



● 取り付けまたは取り外しを行うときは、必ず脚支持部を持った状態で固定ハンドルを回すこと。ブーツを持たずに回すと本品が落下して怪我または破損するおそれがあります。



● 清潔保持のため、医療関係者がレビテーターIIG のハンドルを操作する際は触れる部分には必ず滅菌済ドレープを使用してから操作してください。



● 手術台を作動するときは、他のアクセサリや手術台のテーブルトップとの接触・干渉に注意すること。



● 分離式手術台で使用する際は、分離／装着時に必ずレビテーターIIG を取り外すこと。取り付けた状態では分離／装着ができません。



● 衛生のため、患者がレビテーターIIG と直接触れる部分（ブーツパッド等）には必ず滅菌済ドレープを使用してください。



● アーム角度の可動範囲内でご使用ください。可動範囲以上に押し込むと部品の破損に繋がります。

2. 各部の名称と概要

2-1 各部の名称

次ページに概要を記載しています。

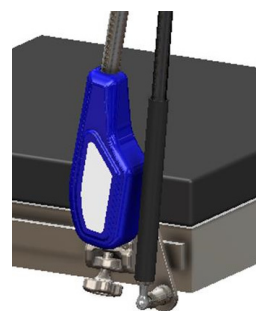


2-2 各部の概要

① 固定ハンドル（固定金具）

レビテーターIIG を手術台腰板部のサイドレールに取り付け、固定します。

※水平、または斜めの状態での取付けは固定ハンドルの締め付けが不十分となり、サイドレールから外れる可能性があります。（詳細は 14 ページ参照）



↑
固定ハンドル



○：正しい取付方

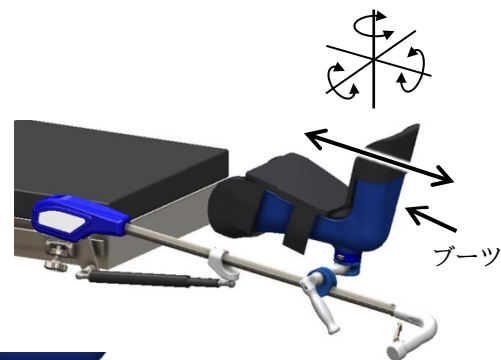
×：誤った取付方例:a（水平）

×：誤った取付方例:b（斜め）

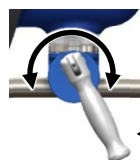
② ブーツハンドル、③ ブーツ

ブーツの位置を調整します。

ハンドルを時計回りに回すと固定し、ハンドルを反時計回りに回すと固定が解除され、位置を調整できます。（右図のような状態から見たとき）



固定解除



固定

← ブーツハンドル

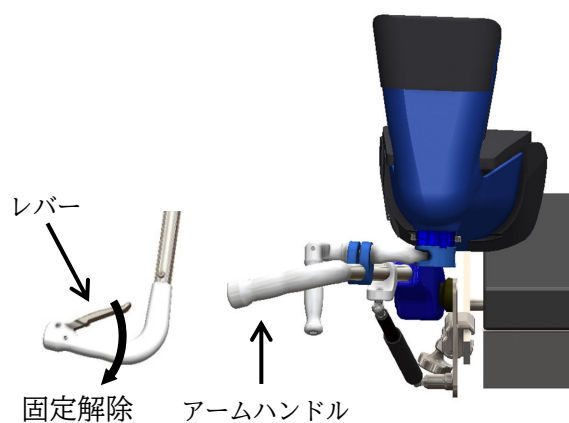
④ ブーツパッド

患者の脚部・踵部・ふくらはぎ下部を
包み込みます。



⑤ アームハンドル

高さとお脚角度を調整します。
アームハンドルのレバーを握ると固定
が解除され、位置を調整できます。ア
ームハンドルのレバーを離すと固定し
ます。



3. 操作方法

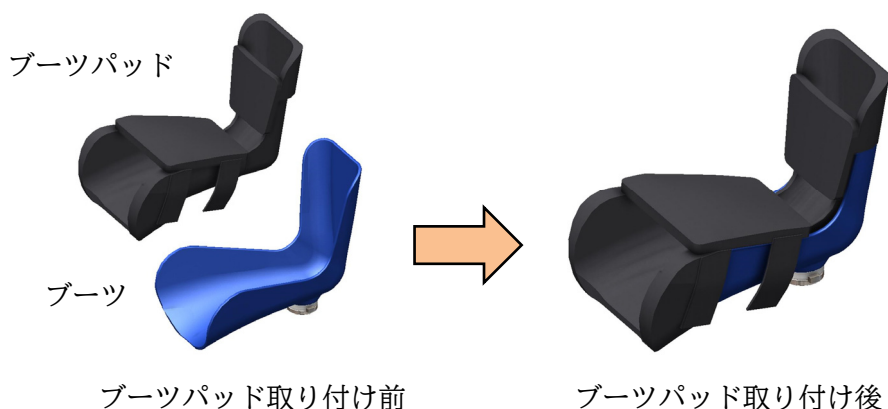
3-1 ブーツ及びブーツパッドを取り付ける

⚠ 注意



- 使用するブーツに対応したブーツパッドを使用すること。

- 1) ブーツに対応したブーツパッドを取り付けます。
ブーツの形状に合わせて、ブーツパッドをブーツに被せます。
面ファスナーを用いて固定させます。
取り外す際は、取り付け時の逆の手順で行います。



ブーツとブーツパッドの対応表

商品コード及び商品名		商品コード及び商品名
18-070-21 レビテーターII 右脚ブーツ レギュラー	↔	18-070-41 レビテーターII 右脚ブーツパッド レギュラー
18-070-22 レビテーターII 左脚ブーツ レギュラー	↔	18-070-42 レビテーターII 左脚ブーツパッド レギュラー
18-070-23 レビテーターII 右脚ブーツ ロング	↔	18-070-43 レビテーターII 右脚ブーツパッド ロング
18-070-24 レビテーターII 左脚ブーツ ロング	↔	18-070-44 レビテーターII 左脚ブーツパッド ロング

商品コード及び商品名		商品コード及び商品名
18-070-25 レビテーターII 右脚ブーツ ショート	↔	18-070-45 レビテーターII 右脚ブーツパッド ショート
18-070-26 レビテーターII 左脚ブーツ ショート	↔	18-070-46 レビテーターII 左脚ブーツパッド ショート
18-070-27 レビテーターII 右脚ブーツ ワイド	↔	18-070-47 レビテーターII 右脚ブーツパッド ワイド
18-070-28 レビテーターII 左脚ブーツ ワイド	↔	18-070-48 レビテーターII 左脚ブーツパッド ワイド

⚠ 注意



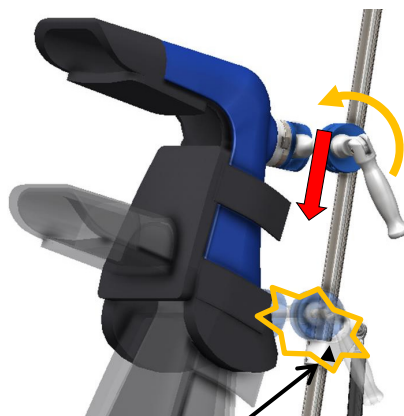
- 右脚用、左脚用があるため注意すること。



- ブーツを調整するときは、しっかりとブーツを保持した状態で行うこと。
しっかりと保持していない状態でブーツハンドルをゆるめると、ブーツが落下して手指などの挟み込みや部品の破損に繋がります。
(健康被害が発生するおそれがあります)



注意喚起ラベル



注意喚起ラベル

2) ブーツを取り付けます。

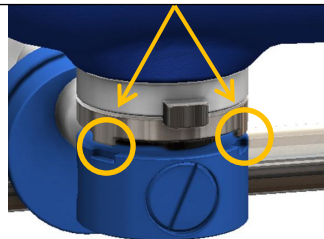
取付部の凹凸を合わせて取り付けます。取り付けるとカチッと音が鳴ります。

ブーツが外れないことを確認してください。

取り外す際は、ブーツ底面部にある二つのボタンを押すとブーツが外れます。



凹凸を合わせて取り付けます



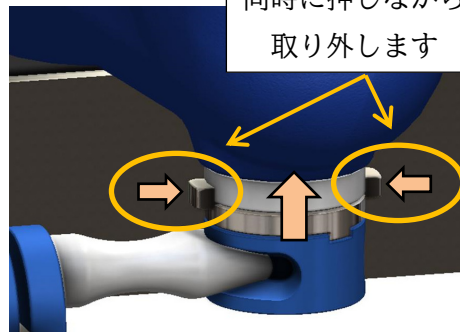
ブーツを取り付ける



取付完了イメージ

2)-1 ブーツを取り外す

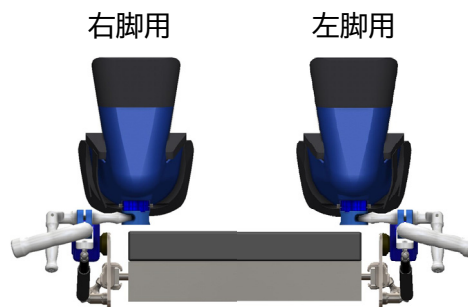
二つのボタンを同時に押しながら取り外します



ブーツを取り外す

補 足

- ブーツは右脚用と左脚用があります。患者の右脚（左脚）に対しては右脚（左脚）を使用します。



3-2 手術台に取り付ける

怪我または破損の防止のため、必要に応じて二人以上で操作してください。

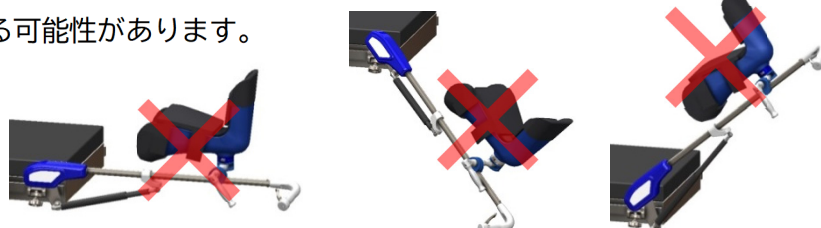
⚠ 注意

- 固定ハンドルは確実に締めること。
ゆるんだ状態ではレビテーターIIG が動いて患者に障害が起きるおそれがあります。

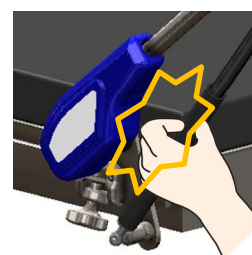
- レビテーターIIG の取り付けを行うときは、必ずアームや脚支持部を持った状態で固定ハンドルを回すこと。持たずに固定ハンドルを回すと、レビテーターIIG が落下して破損の原因となります。その際、ブーツ取り外し用のボタンは押さないように注意してください。



- レビテーターIIG をサイドレールに対して水平、または斜めの状態での取り付けは固定ハンドルの締め付けが不十分となり、サイドレールから外れる可能性があります。

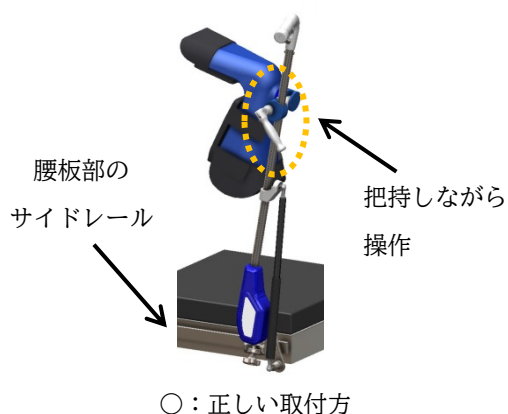


- レビテーターIIG のアームを立てるときは、図示の位置に手指などの挟み込みに注意してください。
(健康被害が発生するおそれがあります)



1)レビテーターIIG は手術台腰板部のサイドレールに対してアームを最大に立てた状態（右図：正しい取付方）にてアームや脚支持部を持ちながら取り付けます。レビテーターIIG をサイドレールに対して水平、または斜め状態（下図：誤った取付方 a、b）での取り付けは固定ハンドルの締め付けが不十分となり、サイドレールから外れる可能性があります。

※ 固定状況を検証した手術台（サイドレール）は当社製のみです。他社製手術台では使用しないでください。

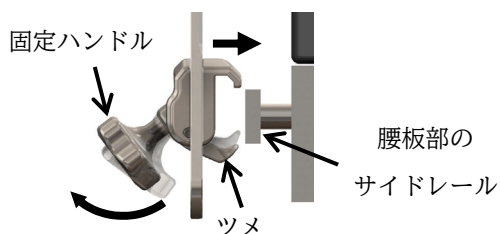


×：誤った取付方例:a (水平)



×：誤った取付方例:b (斜め)

1)-1 固定ハンドルを持ち上げるとツメが開きます。レビテーターIIG を腰板部のサイドレールに引っかけます。

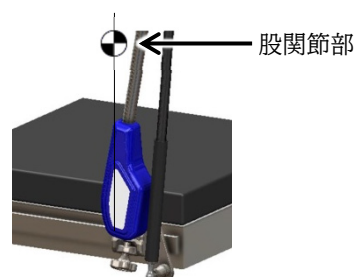


1)-2 レビテーターIIG が引っかかっていることを確認し、固定ハンドルを締めます。

腰板部のサイドレールに固定されていることを確認してください。



2) 患者の股関節部が図の位置になるようにして、固定ハンドルを締めます。腰板部のサイドレールに固定されていることを確認してから使用してください。



3-3 手術台から取り外す

怪我または破損の防止のため、必要に応じて二人以上で操作してください。

⚠ 注 意



- レビテーターIIG の取り外しを行うときは、図のようにアームを最大に立てた状態にすること。



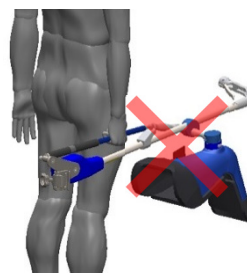
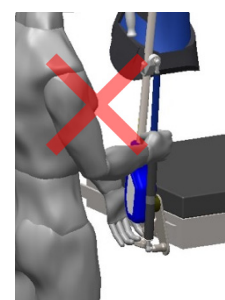
- レビテーターIIG の取り外しを行うときは、必ずアームや脚支持部を持った状態で固定ハンドルを回すこと。その際、ブーツ取り外し用のボタンは押さないこと。
アームや脚支持部を持たずに固定ハンドルを回すとレビテーターIIG が落下して破損の原因となります。



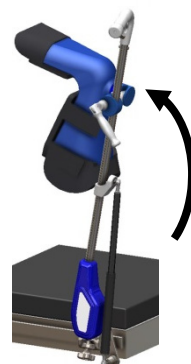
- レビテーターIIG のアームを立てるときは、図示の位置に手指などの挟み込みに注意すること。
(健康被害が発生するおそれがあります)



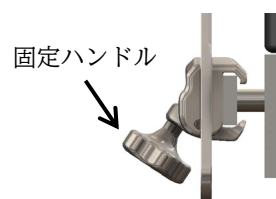
- ガスシリンダー（カバー含む）を握って手術台から取り外したり、持ったまま移動しないでください。ガスシリンダーに過度な負荷が加わり変形や破損に繋がります。



- 1) 右図のように、レビテーターIIG のアームは最大に立てた状態にします。



- 2) レビテーターIIG のアームや脚支持部を持ちながら固定ハンドルをゆるめて外します。



3-4 患者の脚をセッティングする



警告

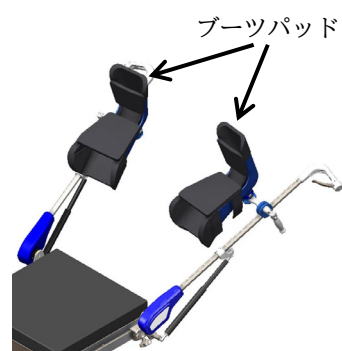


- 両脚支持部は左右対称に設定すること。
片方がずれていると患者の股関節部に障害が起きるおそれがあります。

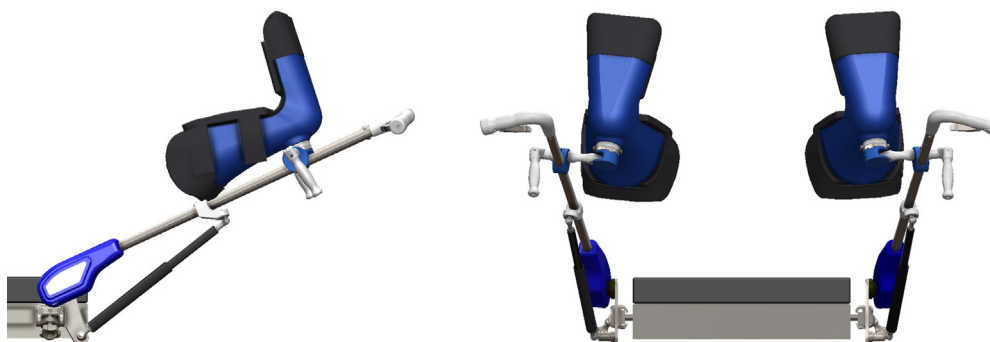


注意

- 患者の脚を圧迫することにより発生する血行障害や知覚障害を防止するために、ブーツパッドを使用すること。



- 1) 脚支持部を同じ長さおよび高さにして、患者の脚をブーツ（ブーツパッド）に入れます。



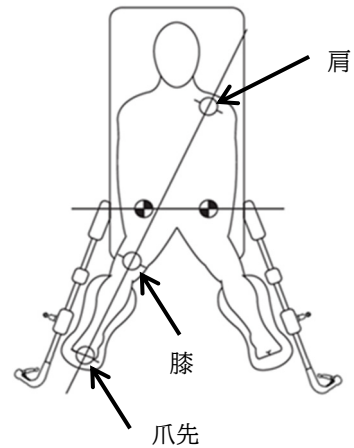


警告



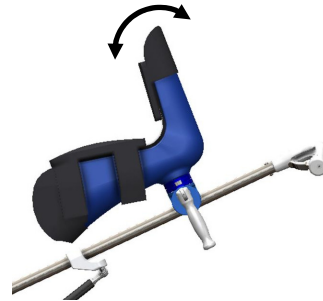
- ブーツの調整は、必ずブーツを持った状態でブーツハンドルを操作すること。ブーツの角度を変えると、脚とブーツの接触部の圧も変わります。ブーツが急に動いて、患者に障害が起きるおそれがあります。

- 2) 右図のように、爪先・膝・反対側の肩が一直線になるようにブーツを調整します。



補足

- 患者の腱への障害を防ぐためにブーツハンドルを固定した状態でも、矢印方向にブーツは動きます。





警告



- 高さとお脚角度の調節はゆっくり行うこと。
お脚角度を広くする場合、下腿側部に強い圧がかかる場合があります。
急に動かすと患者に障害が起きるおそれがあります。



注意



- レビテーター-IIG のアームを立てるときは、図示の位置に手指などの挟み込みに注意すること。
(健康被害が発生するおそれがあります)



- 手術台を作動するときは、レビテーター-IIG とテーブルトップとの接触に注意すること。

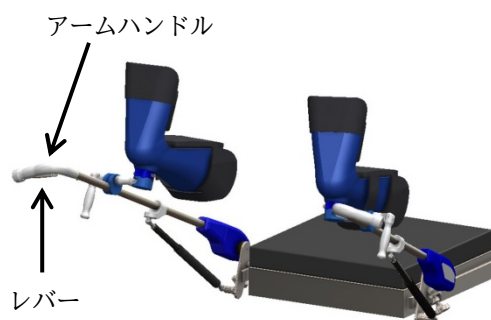


- 分離式手術台での使用は、分離の際、ストレッチャーのレール受けに接触しない位置にレビテーター-IIG を移動すること。

3) レバーを引き、アームハンドルを移動させ、高さとお脚角度を調節します。

※ 実際は、患者がのっています。

※ 実際は、滅菌ドレープ等で覆われているため、患者やドレープ等の巻き込みや挟み込み等に注意して位置調整してください。



3-5 手術前・手術中の確認



警告



- コンパートメント症候群や神経障害、神経麻痺、褥瘡などを防止するため、患者の状態や圧迫されている部位がないかを手術前、手術中に適宜確認すること。

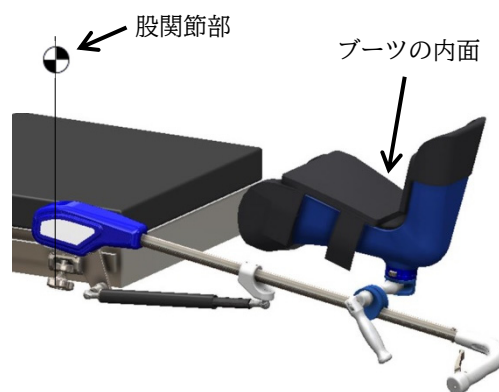


- 手術中、下記の状態では必ず上記の確認をすること。
 - 1) 患者の脚をセッティングし直す場合
 - 2) 手術が長時間になる場合特に長時間の手術では、伸展が原因による神経障害が起きるおそれがあります。

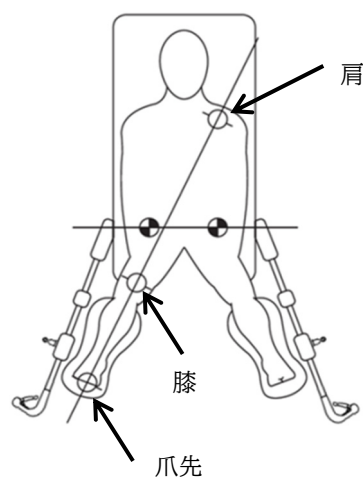
ブーツ部分と脚の間に手を入れたり目視によって、以下のことを確認する。

- 1) 脚とブーツ内面が強く当たっている部分はないか。

※ 実際は、患者がのっている状態で確認します。



- 2) 生理学上無理のない体位になっているか。



4. 保守と点検

注 意

清掃・消毒



- 清掃に用いる消毒剤の取扱説明書に従い、金属や樹脂に悪影響をおよぼす製品を用いないこと。使用する消毒剤の表示や取扱説明書に従うこと。

調整・交換・修理



- 調整・交換・修理は専門知識が必要です。調整・交換・修理が必要なときは、必ずご購入店または当社へ依頼すること。
専門知識のない者が調整・交換・修理を行うと、故障を誘発するばかりか怪我の原因ともなります。

故障時の対応



- 故障したレビテーターIIGは不用意に使用されないように、「故障」または「使用禁止」の表示をすること。

4-1 使用前・使用後の点検

- 1) 固定ハンドルは確実に固定できるか。
- 2) ブーツハンドルは固定／固定解除を確実にできるか。
- 3) ブーツは調整できるか。
- 4) アームハンドルは固定／固定解除、および高さとお脚角度の調整を確実にできるか。
- 5) レビテーターIIG全体（本体、ブーツ、ブーツパッド等）に破損部分はないか。

点検後異常があれば、ご購入店または当社まで修理を依頼してください。

4-2 清掃・消毒

血液・薬剤・汚物等の汚れは水で拭き取り、さらに消毒用アルコール・ガーゼで清拭します。

4-3 アフターサービス

修理などアフターサービスについてのご不明な点は、ご購入店または当社にご相談ください。

4-4 保証について

本品は納品／設置してから1年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は当社規定に依ります。

お客様へのお願い

A. 医療機器の消毒等について

保守点検・修理を依頼する前および後に、医療機器の清拭、消毒などの処置をお願いします。保守点検・修理に関わる人と患者への感染防止のためにご協力ください。

B. 医療廃棄物処理について

感染性物質が付着した医療廃棄物は、廃棄物処理法上「感染性廃棄物」といい「特別管理廃棄物」に区分されます。「感染性廃棄物」を廃棄する場合は適切に処分してください。

C. 本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合、地域行政の指示に従い、不法投棄を行わないようお願いいたします。

5. 仕様

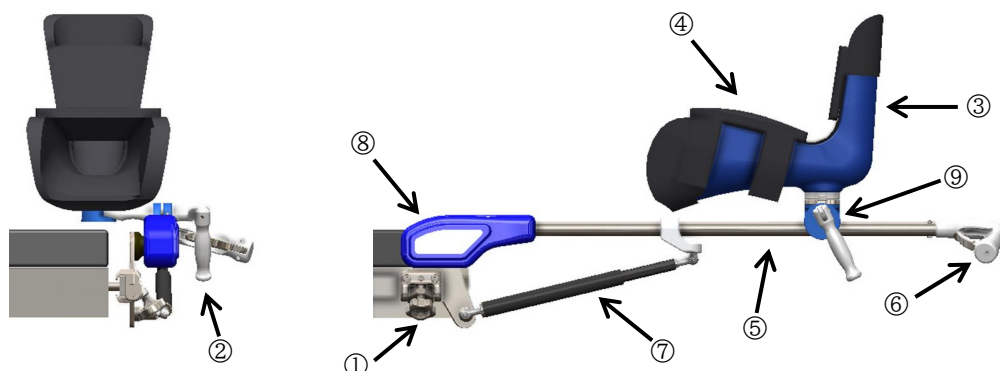
5-1 仕様表

販売名	レビテーターII
製造販売届出番号	13B1X00306G11183
類別	機械器具(01) 手術台及び治療台
一般的名称・JMDN コード	手術台アクセサリ 70469000
クラス分類	一般医療機器
アーム角度 (水平位を基準とした場合)	上：80°、下：35°、内転：10°、外転：30°
ブーツ可動範囲 (水平位を基準とした場合)	前後：360°、上下：360°、左右計：50°
ブーツスライド量	340 mm
質量	レギュラーセット (片脚)：約 6.5 kg
許容患者体重	270 kg 以下
保管環境	周囲温度範囲：10 °Cから 40 °C 相対湿度範囲：30 %から 70 % 気圧範囲：700 hPa から 1060 hPa
耐用期間〔自己認証による〕：注	ブーツパッド：2年 ブーツパッド以外：5年

注：適切な保守点検及び適切な保管をした場合。

耐用期間であっても、使用状況または使用頻度により、突発的な故障、部品の著しい消耗・劣化・破損等が生じた場合は該当部品の交換が必要です。

5-2 外観図



図は右脚用、ブーツとブーツパッドはレギュラー

① 固定ハンドル (固定金具)

④ ブーツパッド

⑦ ガスシリンダー

② ブーツハンドル

⑤ アーム

⑧ 関節部

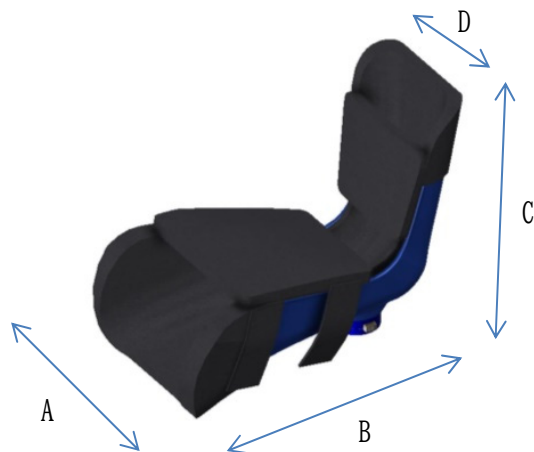
③ ブーツ

⑥ アームハンドル

⑨ 脚支持部

5-3 ブーツパッドの寸法目安

ブーツにブーツパッドを取り付けた製品の外寸目安です。



図はレギュラータイプです

タイプ	A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (mm)	備考
レギュラー	250	400	330	185	a, b
ロング	265	555(フィン無:400)	330	185	c, d
ショート	170	285	270	150	e, f
ワイド	275	475	330	185	g, h

	商品コード	商品名
a	18-070-21	レビテーターII 右脚ブーツ レギュラー
	18-070-41	レビテーターII 右脚ブーツパッド レギュラー
b	18-070-22	レビテーターII 左脚ブーツ レギュラー
	18-070-42	レビテーターII 左脚ブーツパッド レギュラー
c	18-070-23	レビテーターII 右脚ブーツ ロング
	18-070-43	レビテーターII 右脚ブーツパッド ロング
d	18-070-24	レビテーターII 左脚ブーツ ロング
	18-070-44	レビテーターII 左脚ブーツパッド ロング
e	18-070-25	レビテーターII 右脚ブーツ ショート
	18-070-45	レビテーターII 右脚ブーツパッド ショート
f	18-070-26	レビテーターII 左脚ブーツ ショート
	18-070-46	レビテーターII 左脚ブーツパッド ショート
g	18-070-27	レビテーターII 右脚ブーツ ワイド
	18-070-47	レビテーターII 右脚ブーツパッド ワイド
h	18-070-28	レビテーターII 左脚ブーツ ワイド
	18-070-48	レビテーターII 左脚ブーツパッド ワイド

ミズホ株式会社

<https://www.mizuho.co.jp>

■ **本社** 〒113-0033 東京都文京区本郷3-30-13

販売事業部 TEL 03-3815-3097 FAX 03-3813-5068

■ **営業拠点**

北海道センター 〒060-0807 札幌市北区北7条西2-6 37山京ビル2F

TEL 011-716-4731 FAX 011-716-4803

東北センター 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-2 SK仙台ビル2F

TEL 022-227-1688 FAX 022-227-1698

新潟センター 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通七番町1230-7 ストークビル鏡橋6F

TEL 025-229-5458 FAX 025-222-4684

北関東センター 〒113-0033 東京都文京区本郷3-30-13

TEL 03-3815-3193 FAX 03-3815-1280

東海センター 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-17-4 スズシン第2ビル3F

TEL 052-732-7130 FAX 052-732-7131

関西センター 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-10-24 三共本町ビル7F

TEL 06-6444-3840 FAX 06-6444-3860

中国センター 〒730-0029 広島市中区三川町7-7 三川町パーキングビル13F

TEL 082-241-8826 FAX 082-241-8836

九州センター 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-1-1 ZENNO筑紫通ビル5F

TEL 092-431-5022 FAX 092-474-4483

■ **関東圏 販売網（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）**

ミズホアーバン株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-29-3

TEL 03-3811-0350 FAX 03-3811-1880

■ **アフターサービスカスタマーセンター** 〒285-0808 千葉県佐倉市太田2173-13

訪問修理受付 TEL 043-481-3367 FAX 043-481-3374

預り修理受付 TEL 043-481-3368 FAX 043-481-3375

■ **ミズホショールーム** 〒285-0808 千葉県佐倉市太田2173-13

○お問い合わせは営業担当までお願い致します。

■ **工場**

千葉工場 〒285-0808 千葉県佐倉市太田2173-13

五泉工場 〒959-1821 新潟県五泉市赤海3631-14

2022年04月01日現在

MES-CK18-070-91